

エンゼルランドふくいは 子どもの健全育成、子育てを応援します！！

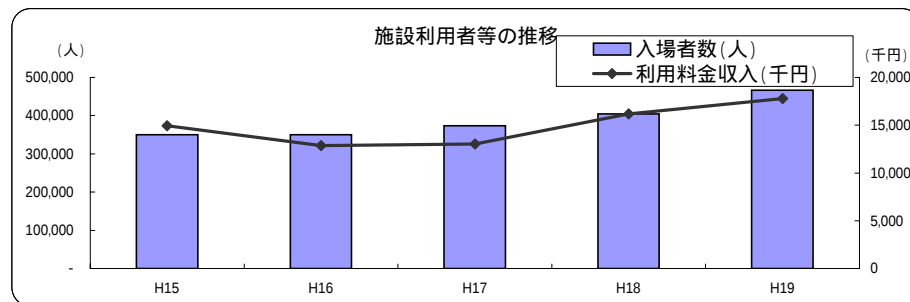
所在地	坂井市春江町東太郎丸3-1		
設置年月日	平成11年6月1日		
施設の種類	児童厚生施設	施設管理主体	指定管理者(福)福井県福祉事業団
設置の目的	遊びを通じて児童の健康を増進し、その情操を豊かにするとともに、科学に関する関心と理解を深めることにより、児童の健全な育成を図る。		
概要 (構造、面積、主な機能)	本館：鉄骨鉄筋コンクリート造り、地上2階(一部3階)、延床面積6,849㎡ 別館：鉄筋コンクリート造り、地上2階、延床面積170㎡ 屋外公園：		
職員数	指定管理者(職員13人 嘱託8人 アルバイト1人 計22人)		

利用状況等

	H15	H16	H17	H18	H19
入場者数(人)	349,710	350,097	373,126	404,917	466,262
利用料金収入(千円)	14,944	12,874	13,030	16,183	17,777

利用者負担(利用料金)等

観覧料 (スペースシアター)	一般	500円
	小中学生	250円
	幼児	100円
＼(展示)	一般	100円



利用状況の推移	平成11年6月に開館し、子どもを中心に年間約47万人の利用者があります。
	平成18年度は、指定管理者制度の導入に伴い、管理者による積極的な企画・サービスの向上、利用促進の努力がなされ、初めて年間利用者が45万人を超え、18年度より、約15%増加しました。また、利用料金収入も平成18年度より約10%増加し、17,7百万円となりました。

施設の特徴

児童の健全育成と科学の心や創作意欲を目覚めさせ、伸ばすことに取り組んでいます。

・児童健全育成事業

幻想的な光と音のショーや音楽遊び、紙芝居の実施など、児童の健康増進・情操教育のための遊び、展示を行っています。

また、子育てマイスターによる子育て相談や子育て講座を実施しています。



・科学普及事業

プラネタリウムや全天周映画(アストロビジョン)の投映・上映、星空観望会などの開催や子どもたちが物質の世界や自然の世界に興味・関心を示すような科学実験ショーを実施しています。



福井県児童科学館(エンゼルランドふくい) ホームページ

<http://www.angelland.or.jp/>

平成19年度の特徴について

事業実績	平成18年度から、民間のノウハウを活用しつつ、住民サービスの向上を図るため、指定管理者制度を導入しました。 公募により選定した結果、平成18年4月から平成21年3月までの3年間、社会福祉法人福井県福祉事業団が指定管理者として管理を行うこととなりました。
	19年度については、8月に入館者300万人を達成しました。 指定管理者制度の導入により、開館日の増加、イベント内容の見直しなど利用者に対するサービスが向上し、導入前(平成17年度)に比べ利用者は+30.0%、利用料金収入は+36.4%と大幅に増加しました。 一方、コストについても、管理委託料が減少するなど、一定の効果がありました。

福井県児童科学館(エンゼルランドふくい) 2/2

行政コスト計算書(平成19年度) (単位: 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%	-
	退職給与引当金繰入	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	-
物にかかるコスト	物件費	317,286	41.3%	98.3%
	維持補修費	15,768	2.1%	654.3%
	減価償却費	354,704	46.2%	100.1%
	計	687,758	89.6%	101.2%
その他	公債費(利子)	80,240	10.4%	85.4%
	その他	0	0.0%	-
	計	80,240	10.4%	85.4%
合 計		767,998	100.0%	97.9%
収入	利用料等収入	0	0.0%	皆減
	その他収入	8,798	1.1%	100.0%
	一般財源	759,200	98.9%	99.9%

バランスシート(平成20年3月31日現在) (単位: 千円)

借方			貸方		
資 産		前年比	負 債		前年比
有形固定資産	7,630,616	95.7%	固定負債	3,170,485	90.3%
うち土地	1,927,197	100.0%	うち起債残高	3,170,485	90.3%
うち建物	5,554,266	94.1%			
投資等	24,115	79.2%	流動負債	339,716	69.5%
流動資産	0	-	正味資産	4,144,530	103.4%
計	7,654,731	95.8%	計	7,654,731	104.6%

主な指標 (単位: %, 円/人)

	H19	H18	前年比
県民1人あたり有形固定資産額	9,359	9,742	96.1%
県民1人あたり将来負担額	3,889	4,289	90.7%
世代間負担率	54.3	50.2	108.1%

バランスシート、行政コスト計算書の特色	貸借対照表の分析 施設の建設が平成11年度と新しいため、他施設より負債の割合が高いですが、起債の償還が進んだ結果、正味資産の割合が約55%となった。(H19償還額350,995千円) 損益計算書の分析 平成19年度は、物件費が削減されていつが、維持補修費が18年度比6.5倍になっているため、一般財源ベースでは、18年度とほぼ同水準となった。 また、起債残高の減少により、公債費(利子)が約30%減少しました。 この結果、県民1人あたりのコストについても、前年比2.5%の削減になりました。
施設の目的上、管理運営上、主要な事業	次代を担う子どもたちが遊びを通して科学や文化に触れ、夢を育むための児童健全育成拠点施設です。 子どもたちに遊びの体験を通して健康を増進し、情操を育んでいます。 科学に関する知識を提供し、科学に対する関心と理解を深めています。
今後の課題	屋外広場には、全国でも数少ない大型遊具、屋内にはプラネタリウムが設置されており、その人気も高く、一部を除いて無料ということもあり、県内外の多くの親子が利用しやすい施設となっています。 今後とも、多くの親子に利用してもらえるよう、新たな企画、サービスの向上に取り組んでいく必要があります。 また、開館から10年を経過することから、利用者の安全を保つためにも、施設や機器の適切に維持管理と効率的な運用をに努め、長期にわたり有効に活用できる状態に保つ必要があります。
今後の事業方針・取り組み内容	平成18年4月から平成21年3月までの3年間、社会福祉法人福井県福祉事業団が指定管理者として多様な利用者ニーズに対応する幅広いサービスの提供を行います。 春休み、ゴールデンウィーク、夏休み、冬休みは、休館日をなくし、年始も3日から開館して、利用者のサービス向上に努めるとともに、常に新たな企画内容を取り入れ、県内の親子に何度でも来館してもらえるよう、ソフト面の充実を図っていきます。 また、平成18年度からは、県内の子育て家庭に対する支援として、未就園児対象の事業に「子育てマイスター」の協力を得て、保護者の相談に応じる事業を実施するとともに、保守点検や警備を充実し、安全安心な施設管理に努めていきます。 さらに、県内児童館の拠点施設として、児童館への情報提供や連携した事業実施に努めていきます。 今後とも、利用者アンケートの実施やホームページ等で意見を聞き、ハード・ソフトの改善をしていくことで、子どもが利用する施設として、安全で楽しめる施設運営を行っています。

